

主な取組み・実績等

- ①子が3歳に達するまで育児休業取得可
- ②就学前までの短時間勤務制度
(1日2時間を超えない範囲で短縮可)あり、制度利用時も月給・賞与の減給なし
- ③子の看護休暇は有給
- ④これまでに30名程度が育児休業を取得

スタッフが安心して働ける環境作りが大切

「保育はマンパワーがすべて。だから、優秀なスタッフはできるだけ長く働いてもらいたいのです」。武藤園長は、約20年前に開園して以来、一貫してこの思いを持ち続けています。自身も保育士として活躍してきた経験から、スタッフにとって働きやすい職場環境や、保護者にとって頼りになる保育園について真剣に考えてきました。

「保育士の仕事には、2つの重要なことがあります。1つはお預かりしているお子さんたちのお世話をすること。もう1つは保護者の良き相談相手として、支えていくこと。子育てには不安が多く、保護者のそんな負担を軽くしてあげるのも保育士の大切な仕事です」。そのような考えに基づいて、経験豊かなスタッフは保育園の重要な財産として捉えています。

育児休業や介護休業を積極的に取り入れてきた武藤園長ですが、実は以前は不安もあったそうです。「いくら私が『子どものために休んでもいいんだよ』と言っても、園内に休暇を取りづらい空気があったら、スタッフは休みたくても休めません。だから、自由な空気感作りには気を使いました。今では先輩から後輩へと受け継がれ、育児休業や介護休業は当たり前になっています」。

園長はいつもスタッフに「独身の間は仕事6割、私生活4割。彼氏ができたら仕事と私生活は半々。結婚して子どもができたら仕事4割、私生活6割がいい」と言い、仕事とともに私生活の充実も大切にしよう説いています。

また、同園は長く働けるためスタッフの年齢層が20代～50代と幅広く、ベテランスタッフは仕事だけでなく、人生の先輩としても若いスタッフの公私にわたる指導役となっています。

今後は男性保育士の育成にも努めたいという武藤園長。保育を男性の職業としても確立し、利用する人、従事する人の両方にとって、よりよい発展を目指していきたいと語ってくれました。



社会福祉法人宮本福祉会 わらしこ保育園
武藤好美 園長



ベテランスタッフは
保護者にとって、
頼もしい
アドバイザーになる。



子供のため、
スタッフのため、
自由な空気感は
重要なポイントとなる。